

シラスの日齢と成長

資源管理部 研究専門員 富安正蔵

目的

シラスの日齢と成長を把握し、シラスやイワシ類の漁況予報や、イワシ類の資源の評価・適正管理・持続的利用の推進に資する。

方法

西薩，志布志海域のバッチ網で，平成21～23年度に採集されたシラスの，体長と耳石の輪紋を計数し，日齢と体長から漁獲時期別の成長式を推定した。

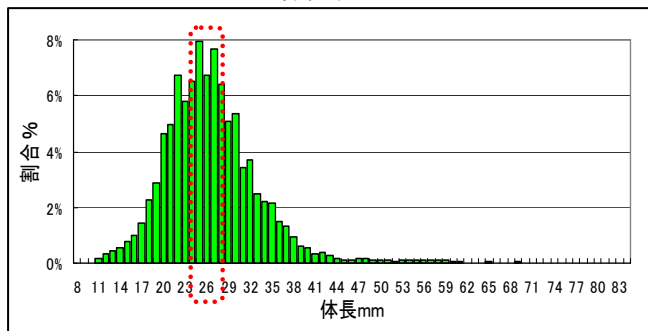
耳石とは？なぜ耳石から日齢が分かるのか？

- ・魚の頭の骨の中の左右にあり，体の平衡バランスを保つ働きがある。
- ・耳石は，魚の成長とともに毎日少しずつ大きくなる。すると，耳石の外側に，毎日非常に細い線の輪が1本ずつ作られてくる。この日輪の数を数えることにより，ふ化してからの日数が分かる。

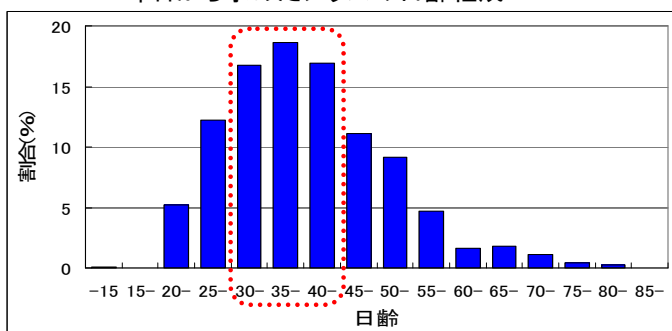


結果

シラスの体長組成



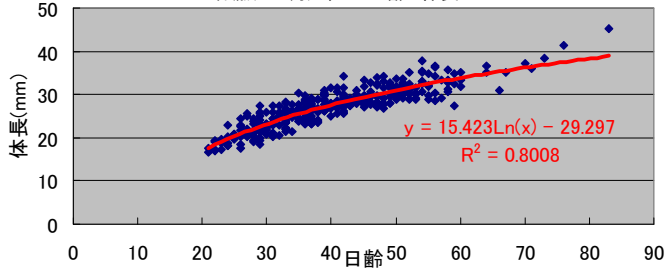
耳石から求めたシラスの日齢組成



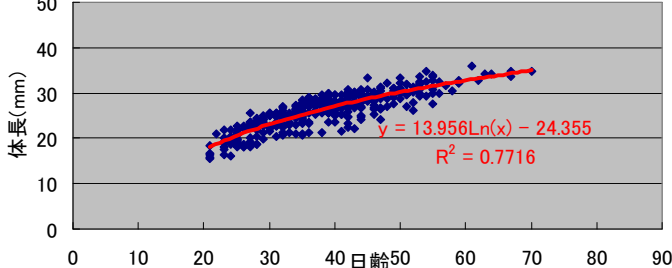
シラスの体長のモードは25～27mm。日齢は30～44の個体が多く，シラスの多くがふ化してから1～1.5ヶ月の個体と推定

漁獲時期別(春漁，秋漁)のシラスの成長を推定

春漁(3-6月)シラスの日齢と体長



秋漁(9-12月)シラスの日齢と体長



上記の関係から日齢別の体長を推定すると

漁獲時期	日齢35 体長mm	日齢45 体長mm	10日あたりの成長
春(3～6月)	25.5	29.4	3.9
秋(9-12月)	25.3	28.8	3.5
体長差	0.2	0.6	0.4

春生まれと秋生まれのシラスでは，春生まれのシラスの方が成長が早い可能性がある。

→3カ年だけの結果のため，今後も調査を継続し，データの蓄積を図るとともに水温等環境要因との関係を検討する。

- シラスとは？

主にイワシ類の稚魚で，鹿児島県ではバッチ網で漁獲される。

煮熟して乾燥させたものが，チリメン。